

台風シーズンに備えましょう

問い合わせ

総務課行政係 ☎ 22-7719

9月は、台風による大雨や高潮被害が最も発生しやすいシーズンです。市内においても、7月13日から14日にかけての大雨により、がけ崩れや床下浸水などの被害がありました。今一度、過去の災害を教訓に、被害を最小限に抑えるために日頃から防災の準備をしておきましょう。



1. 普段から万全の対策を


市では、関係機関と連携して、災害に対応しています。より一層の被害の軽減を図るためには、市の防災対策だけでなく、市民のみなさんによる防災活動が不可欠です。

日頃から災害に対する心がけをもって、台風シーズンに備えましょう。

①家族で防災の話を

日頃から家族で、高潮・洪水ハザードマップを利用したり、災害のニュースを見たり、聴いたりして、家族で危険な箇所や避難場所、避難経路について話し合ってみましょう。

②日頃から持ち出せるように避難袋の用意を



避難袋チェックリスト		
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 救急用品
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> ろうそく
<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> 下着
<input type="checkbox"/> 貴重品（預金通帳、印かん、現金など）		

③家のまわりの整備、点検を

側溝や用水路にゴミがつかまっていないか、台風による強風で飛ばされそうなものがないか事前に確認しましょう。

2. 危険と感じたら早めの避難を

①情報収集をして早めの避難を

最新の気象情報を入手して、雨の降り方や周りの状況に身の危険を感じたら、浸水が始まる前に避難しましょう。

万が一、避難が遅れた場合には、無理をして外に出ず、浸水被害から身を守るために、家の2階などに避難しましょう。

②広報車の呼びかけに注意を

危険が迫っている場合には、広報車で避難の呼びかけを行っています。

外からの広報や消防車のサイレンなどに注意しましょう。

③動きやすい格好で歩いて避難を

荷物は必要最小限にして、できるだけ歩いて避難しましょう。

車での避難は、避難者・緊急車両の通行の妨げとなりますので控えましょう。

④高齢者などの人に避難の支援を

高齢者・障害者等の災害時に手助けを必要とする人は、特に早めの避難が必要です。

あらかじめ救助や避難の方法を周囲の人たちで話し合っておきましょう。

テレビ・ラジオ・インターネットなどで大雨、台風などの情報を確認しましょう

広島県防災ウェブ

気象情報・土砂災害や洪水の危険箇所図など
(パソコン)

<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/hdis/index.jsp>

(携帯電話)

<http://bousai.pref.hiroshima.jp/i/>

土砂災害危険区域図の情報

土砂崩れによる被害の恐れがある箇所の情報

<http://www.sabof.pref.hiroshima.lg.jp/karte/agreement.asp>

広島県防災情報メール通知サービス

気象情報や雨量、水位などの情報

<http://www.bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jp>

※サービス利用の登録ができます

竹原市ホームページ

緊急避難場所や高潮・洪水ハザードマップなど

http://www.city.takehara.hiroshima.jp/soumu/bousai/bousai_m.jsp